

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月31日

上場取引所 大

上場会社名 テクノホライズン・ホールディングス株式会社
 コード番号 6629 URL <http://www.technohorizon.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 竹内 清
 (氏名) 渡邊 毅

TEL 052-823-8551

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	26,954	△26.6	△197	—	△261	—	△490	—
23年3月期第3四半期	36,722	—	1,171	—	1,065	—	1,051	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 △673百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 720百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	△35.50	—
23年3月期第3四半期	76.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	32,553	8,594	26.2
23年3月期	32,683	9,446	28.7

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 8,520百万円 23年3月期 9,369百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	13.00	13.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	△14.2	200	△84.6	230	△80.3	10	△98.9	0.72

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	21,063,240 株	23年3月期	21,063,240 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	7,257,725 株	23年3月期	7,257,645 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	13,805,574 株	23年3月期3Q	13,805,708 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により前半は著しく低迷し、後半にかけて回復に向かうものの、その回復のテンポは緩やかなものとどまりました。一方、欧州における財政・金融危機の深刻化、中国等新興国の成長率鈍化に加えてタイの洪水の影響などにより、世界経済全体が不安定な状態にあり、日本経済についても大幅な円高から先行きの不透明感が増しております。

このような経済環境のもと、当社グループでは、引き続き「新事業の創出」と「グローバル化」を戦略の柱として、次期以降に向けての施策を含め事業活動を積極的に推進いたしました。

光学事業におきましては、デジタルカメラ用光学ユニットビジネスが第2四半期以降において改善いたしましたものの、新製品の立ち上げが計画通りに進まなかった第1四半期における落ち込みを取り戻すまでには至りませんでした。書画カメラ（資料提示装置・実物投影機）ビジネスでは、特に主要市場である米国の経済停滞に伴う教育機器予算削減や円高の進行に加え、タイの洪水による部品調達難から新製品の市場投入が遅れたこと等が事業に影響を及ぼしました。

電子事業におきましては、自主開発製品の販売促進並びにF A事業の中国進出に注力いたしました。なお、震災による部品調達難の影響から生産調整・納期繰延等が生じておりましたが、第2四半期以降に改善されました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高26,954百万円（前年同四半期比26.6%減）、営業損失197百万円（前年同四半期は営業利益1,171百万円）、経常損失は円高による為替差損の影響を受け261百万円（前年同四半期は経常利益1,065百万円）となりました。

また、上述のとおり、デジタルカメラ用光学ユニットビジネスの業績が第2四半期以降改善はしているものの、市場環境は依然厳しく、先行きにも不透明感があるために一部子会社において繰延税金資産の計上を行わなかったこともあり、四半期純損失は490百万円（前年同四半期は四半期純利益1,051百万円）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

① 光学事業

光学事業をとりまく経営環境は、市場の成熟化、商品の低価格化、海外販売比率が高い中での円高の進行等、厳しい状況が続いております。特に光学ユニット販売がデジタルカメラ用新製品の立ち上げ遅れにより第1四半期において大きな落ち込みが生じたのに加え、書画カメラ販売でも主要市場である米国における教育機器予算の削減、円高の進行が影響いたしました。

これらの結果、光学事業における当第3四半期連結累計期間の売上高は21,274百万円（前年同四半期比30.6%減）、営業損失は285百万円（前年同四半期は営業利益1,266百万円）となりました。

今後につきましては、ELMOブランド認知度の高い教育市場において、書画カメラビジネスを発展させたクラスルームソリューション（ClassRoom Solution：CRS）ビジネスを推し進めるほか、グループシナジーを活かした新規商品の開発も推進してまいります。

② 電子事業

電子事業におきましては、第1四半期における震災による部品調達難の影響から回復した中で、F A関連機器をはじめとする受託開発ビジネス及び自主開発の情報通信機器やデジタル共聴機器等の販売促進に努めるとともに、中国市場へのビジネス展開を進めました。

これらの結果、電子事業における当第3四半期連結累計期間の売上高は5,679百万円（前年同四半期比6.7%減）、営業利益は132百万円（前年同四半期は営業損失99百万円）となりました。

今後につきましては、既存ビジネス拡大とともに、F A関連機器の需要拡大が見込まれる中国市場でのビジネス確立に注力いたします。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は21,857百万円となり、前連結会計年度末に比べ357百万円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が713百万円、商品及び製品が617百万円減少し、一方で仕掛品が683百万円、原材料及び貯蔵品が576百万円増加したことによるものであります。固定資産は10,696百万円となり、前連結会計年度末に比べ228百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が175百万円、無形固定資産が170百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は32,553百万円となり、前連結会計年度末に比べ129百万円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は18,768百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,072百万円増加いたしました。これは主に短期借入金が1,551百万円増加し、一方で支払手形及び買掛金が105百万円、未払法人税等が249百万円減少したことによるものであります。固定負債は5,190百万円となり、前連結会計年度末に比べ350百万円減少いたしました。

この結果、負債合計は23,959百万円となり、前連結会計年度末に比べ722百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は8,594百万円となり、前連結会計年度末に比べ851百万円減少いたしました。これは主に四半期純損失490百万円及び剰余金の配当179百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は26.2%（前連結会計年度末は28.7%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成23年10月25日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期連結業績予想から変更はございません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、見積実効税率を使用できない会社については、法定実効税率を使用しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

第1四半期連結会計期間より、連結子会社の(株)SUWAオプトロニクスは、有形固定資産「その他」のうち金型の減価償却方法について、従来、定率法によっていましたが将来にわたり定額法に変更しております。

この変更は、同社が連結子会社の(株)エルモ社からレンズ事業を承継したことに伴い、光学製品製造に用いられる金型の減価償却方法について会計処理の統一を図ることを目的として検討した結果、金型の使用状況は耐用年数にわたり安定的に推移していることから、定額法による費用配分がより適切であると判断し行ったものであります。

この変更に伴い、従来の方法と比較して営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失は40,864千円減少しております。

また、セグメント情報に与える影響額は、当該箇所に記載しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,263,237	3,975,938
受取手形及び売掛金	8,225,896	7,512,336
商品及び製品	2,695,796	2,077,905
仕掛品	2,510,668	3,193,733
原材料及び貯蔵品	3,033,222	3,609,902
その他	1,516,606	1,521,652
貸倒引当金	△30,837	△34,454
流動資産合計	22,214,589	21,857,013
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,318,013	3,196,086
土地	4,573,439	4,566,703
その他（純額）	1,295,427	1,599,176
有形固定資産合計	9,186,880	9,361,966
無形固定資産		
投資その他の資産	255,844	426,844
その他	1,039,150	921,283
貸倒引当金	△13,425	△13,155
投資その他の資産合計	1,025,724	908,128
固定資産合計	10,468,450	10,696,939
資産合計	32,683,040	32,553,953
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,254,692	6,148,764
短期借入金	9,600,234	11,151,963
未払法人税等	319,092	69,394
その他	1,522,203	1,398,741
流動負債合計	17,696,221	18,768,863
固定負債		
長期借入金	3,080,450	2,811,638
退職給付引当金	1,842,362	1,737,083
負ののれん	357,207	277,573
その他	260,598	364,284
固定負債合計	5,540,618	5,190,578
負債合計	23,236,839	23,959,442

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,500,000	2,500,000
資本剰余金	5,503,876	5,324,403
利益剰余金	3,843,082	3,352,969
自己株式	△1,861,691	△1,861,700
株主資本合計	9,985,267	9,315,671
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,572	1,752
繰延ヘッジ損益	△13,175	△14,387
為替換算調整勘定	△612,565	△782,946
その他の包括利益累計額合計	△616,168	△795,581
新株予約権	—	4,158
少数株主持分	77,101	70,263
純資産合計	9,446,201	8,594,511
負債純資産合計	32,683,040	32,553,953

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	36,722,069	26,954,585
売上原価	30,410,728	22,438,255
売上総利益	6,311,341	4,516,329
販売費及び一般管理費	5,140,075	4,713,917
営業利益又は営業損失(△)	1,171,266	△197,587
営業外収益		
受取利息	3,205	2,018
受取配当金	1,531	2,120
持分法による投資利益	4,178	6,545
負ののれん償却額	80,137	79,633
受取補償金	26,332	174
その他	68,904	38,052
営業外収益合計	184,290	128,545
営業外費用		
支払利息	80,448	80,649
創立費償却	25,058	1,933
為替差損	156,258	71,947
その他	28,106	38,062
営業外費用合計	289,872	192,593
経常利益又は経常損失(△)	1,065,684	△261,635
特別利益		
固定資産売却益	3,482	242
投資有価証券売却益	—	5,428
貸倒引当金戻入額	1,195	—
リコール損失引当金戻入額	4,281	—
製品保証引当金戻入額	3,120	—
負ののれん発生益	375,074	—
特別利益合計	387,155	5,671
特別損失		
固定資産売却損	11,388	439
固定資産除却損	12,047	8,005
投資有価証券評価損	8,185	—
減損損失	56,577	—
保険解約損	9,533	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	4,700	—
特別損失合計	102,431	8,445
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,350,408	△264,409
法人税等	296,381	230,042
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	1,054,026	△494,452
少数株主利益又は少数株主損失(△)	2,584	△4,339
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,051,442	△490,113

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	1,054,026	△494,452
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△118	△7,819
繰延ヘッジ損益	△78,346	△1,212
為替換算調整勘定	△247,022	△168,581
持分法適用会社に対する持分相当額	△8,503	△1,799
その他の包括利益合計	△333,992	△179,413
四半期包括利益	720,034	△673,865
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	717,449	△669,526
少数株主に係る四半期包括利益	2,584	△4,339

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	合計
	光学事業	電子事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	30,636,996	6,085,072	36,722,069	—	36,722,069
セグメント間の内部 売上高又は振替高	37,002	241,876	278,878	△278,878	—
計	30,673,998	6,326,948	37,000,947	△278,878	36,722,069
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	1,266,558	△99,633	1,166,925	4,340	1,171,266

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額4,340千円は、セグメント間取引消去207,644千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用203,303千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

当社は、平成22年4月1日に(株)エルモ社と(株)タイトックが経営統合し、両社の完全子会社とする共同持株会社として設立されましたが、この設立の際、当社が追加取得した子会社株式の取得原価と、減少する少数株主持分との差額を負ののれんとして計上しております。当該事象により発生した負ののれんは光学事業に属するものであり、当第3四半期連結累計期間における負ののれん発生益は374,969千円でありませ

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	合計
	光学事業	電子事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	21,274,940	5,679,644	26,954,585	—	26,954,585
セグメント間の内部 売上高又は振替高	152,559	238,540	391,099	△391,099	—
計	21,427,500	5,918,185	27,345,685	△391,099	26,954,585
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	△285,158	132,472	△152,685	△44,902	△197,587

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△44,902千円は、セグメント間取引消去161,609千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用206,512千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 減価償却方法の変更

「2. サマリー情報(その他)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」の記載のとおり、光学製品製造に用いられる金型について定率法から定額法に変更しております。この変更により「光学事業」のセグメント損失が40,864千円減少しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象
該当事項はありません。